

勝坂を語ろう！勝坂遺跡シンポジウム

よみがえる縄文時代の集落

～ここまで残った勝坂遺跡～

勝坂遺跡は、縄文時代の集落跡で「勝坂式土器」の名前でも広く知られています。

遺跡の一部は国史跡に指定され、整備の進んだ「史跡勝坂遺跡公園」は人々の憩いの場として親しまれています。

今回は勝坂遺跡で行われた最新の調査・研究成果をみなさんにお伝えし、更なる保存と活用に向けて、遺跡をどのように守り、伝えて、活用していくか、市民のみなさんとともに考えていくためのシンポジウムです。

1. 日時 平成31年1月19日(土)
開場 午前9時30分 開演 午前10時(午後5時終了予定)
2. 会場 サン・エールさがみはら(相模原市緑区西橋本5丁目4番20号)
3. 講演
基調講演 「勝坂遺跡と縄文中期文化の盛衰」
山本暉久さん(昭和女子大学名誉教授)
講演1 「勝坂遺跡周辺の縄文時代以降の植生変遷と植物資源管理」
能城修一さん(明治大学黒耀石研究センター客員研究員)
講演2 「勝坂遺跡公園で縄文時代人の技術や資源観を考える」
山田昌久さん(首都大学東京教授)
講演3 「指定史跡の遺跡と公園」
鹿野陽子さん(岐阜県立国際園芸アカデミー客員教授)
事例紹介1 「埼玉県 デーノタメ遺跡」
磯野治司さん(北本市教育委員会)
事例紹介2 「山梨県 国指定史跡梅之木遺跡」
佐野 隆さん(北杜市教育委員会)
パネルディスカッション

その他、勝坂遺跡から出土したマメ圧痕土器の展示があります。

4. 主催 相模原市教育委員会

問合せ先
文化財保護課
042-769-8371

勝坂を語ろう！勝坂遺跡シンポジウム

よみがえる縄文時代の集落

～ここまで残った勝坂遺跡～

基調講演 山本暉久さん（昭和女子大学 名誉教授）

「勝坂遺跡と縄文中期文化の盛衰」

講演 1 能城修一さん（明治大学黒耀石研究センター 客員研究員）

講演 2 山田昌久さん（首都大学東京 教授）

講演 3 鹿野陽子さん（岐阜県立国際園芸アカデミー 客員教授）

事例紹介 1 埼玉県 デーノタメ遺跡 磯野治司さん（北本市教育委員会）

事例紹介 2 山梨県 国指定史跡梅之木遺跡 佐野 隆さん（北杜市教育委員会）

パネルディスカッション

平成31年1月19日（土）

10時～17時（受付9時30分～）

サン・エールさがみはら ホール

JR 横浜線・JR 相模線・京王線橋本駅南口から徒歩10分

入場無料 定員250名（当日受付順）

主催 相模原市教育委員会

問い合わせ 文化財保護課 電話 042-769-8371



勝坂遺跡出土のママ圧痕土器

よみがえる縄文時代の集落

～ここまで残った勝坂遺跡～

勝坂遺跡は縄文時代中期の集落跡で「勝坂式土器」の標式遺跡として広く知られています。

勝坂遺跡での発掘調査は、大正15年に考古学者の大山柏先生によってはじめて実施されました。

この調査から90年以上を経て、現在では110次以上の調査が行われ、多くの成果が蓄積されています。

また、遺跡の一部は国史跡に指定され、整備が進んだ「史跡勝坂遺跡公園」は人々の憩いの場として親しまれています。

今回は、最新の調査・研究成果から勝坂遺跡を改めて評価し、その実像をみなさんにお伝えするとともに、これからの勝坂遺跡をどのように守り伝え活用していくか、みなさんとともに考えていくためのシンポジウムです。

- 09:30～ 開場
- 10:00～ 開会のごあいさつ
- 10:05～ 勝坂遺跡の概要（相模原市教育委員会）
- 10:20～ 基調講演 山本暉久さん（昭和女子大学 名誉教授）
「勝坂遺跡と縄文中期文化の盛衰」
- 12:00～ 休憩
- 13:00～ 講演1 能城修一さん（明治大学黒耀石研究センター 客員研究員）
- 13:40～ 講演2 山田昌久さん（首都大学東京 教授）
- 14:20～ 講演3 鹿野陽子さん（岐阜県立国際園芸アカデミー 客員教授）
- 15:00～ 休憩
- 15:10～ 事例紹介1 磯野治司さん（北本市教育委員会）
「埼玉県 デーノタメ遺跡」
- 15:40～ 事例紹介2 佐野 隆さん（北杜市教育委員会）
「山梨県 国指定史跡梅之木遺跡」
- 16:10～ 休憩
- 16:15～ パネルディスカッション
- 16:55～ 閉会にあたって
- 17:00 閉会

平成31年1月19日（土）

10時～17時（受付9時30分～）

サン・エールさがみはら ホール

〒252-0131 相模原市緑区西橋本五丁目4-20

JR 横浜線・JR 相模線・京王線橋本駅南口から徒歩10分

駐車場 隣接緑区合同庁舎第2駐車場（232台 無料）

入場無料 定員250名（当日受付順）

問い合わせ 相模原市教育委員会文化財保護課

電話 042-769-8371

